

金型設計40年の技術が 同社の支柱

——御社の事業内容を教えてください。
坂本：携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、自動車などに使われる精密部品をつくっています。金型の設計・製作から始めて、プレス加工、二次・三次加工をして製品に仕上げています。

——どういったものが得意なのでしょう。
坂本：例えば、携帯電話のアンテナ部分に組み込まれる板バネなどの加工ですね。製造工程が複雑で満足いく製品に仕上げるのが難しく、引き受けるのが少ないので当社の受注が増えています。

板バネの多くはプレス加工後に熱処理加工があるので、規定の寸法に収めるように素材の性質をつかんで寸法変化などを計算しなければなりません。精密部品ですから、誤差の

幅もミクロン単位で非常に狭い。さらに一定の耐久性も要求されます。ロットごとに寸法も変わる場合も多いので、手間がかかるのです。

——最新の製品に使われた部品の事例を教えてください。
坂本：ある最新の折りたたみ式携帯電話端末に搭載されている、ディスプレイが右に90度回転できる「サイクロイド機構」の部品は当社が加工しました。従来の常識の倍の精度を求められて苦労しましたが、何とか仕上げることで満足しています。

——そういった技術力はどのように磨いてこられたのですか。
坂本：金型設計40年という大ベテランの技術者が当社の柱になっていきます。現在は技術顧問を務めて

また、99年にISO9001を取得しました。新規のお客さまを開拓すると、どんな工場なのかとお客さまが調べにくのですが、あるお客さまから品質管理手法について指摘を受けたことがきっかけになりました。当時、ちよつと社内ガタガタしたことがあって、社員の気持ち一つにまとめるためにもいい目標になると導入を決めたのです。取得してみると、一歩上の段階から営業でき、さらに社内に品質管理に対するいい緊張感が持続できる効用を実



もらっています。その人に教わった技術者が育つてきています。その人は、プレス製品は垢抜けていないとダメ」というのが口ぐせで、製品の仕上がり具合を見る目を養って

感じています。ISO取得以降、製品を納期より常に1日前に納めることに取り組んでいます。この業界は納期遅れが当たり前のような体質があるのですが、それではお客さまに満足してもらえません。納期の4日前に完成させて、3日かけてテストをし、仕上げのつくり込みを行って1日前に完璧な製品を納めているんですが、そうするとお客さまから喜ばれますね。

社員全員、「QC検定」の 取得にチャレンジ

——人材育成については、どんな取り組みをしていますか。
坂本：まず、品質管理の資格である「QC検定」の取得にチャレンジさせています。今年度は9人受験して全員合格しましたが、次回は全員受験してもらつてもいいです。終業後に私が講師になって勉強会を開いています。また、ISOを会社に根付かせよう、経営に生かせるものにならうと、現

場における問題解決手法などをコンサルタントを招いて勉強しています。さらに、近々「社長塾」を始めようと考えています。経営者として後継者を育成することが重要な課題ですが、自分の子どもを後継者にするのはなく、社員の中から将来の経営者となる幹部を抜擢しようと思っています。数名の候補者に私が直接、経営者教育を施す予定です。

——坂本さんご自身は、2代目経営者になりたいと思っていたのですか。
坂本：いえいえ。私は労働運動の活動家でしたから、経営者は敵のような存在でした(笑)。父が倒れて後継者を決めなければならなくなつた時、家族会議で私に決まっただけです。私は三兄弟の二男なんです。兄は宗教家で商売を継ぐことはできないし、弟は当時まだ26歳で若すぎないし、大いに迷いましたけれど、従業員の雇用を守らなければならぬという責任を感じて引き受けることにしました。労働運動だけでは飽き足

品質管理を徹底。 顧客から頼られる存在に

金型設計から製品加工まで一貫製造。
精密部品のオールマイティ集団

従業員の雇用を守る責任を感じて、労働運動の活動家から家業の2代目経営者に転身した坂本悟。社名を変更し、ISO9001を取得、さらに社員教育に熱心に取り組むなど、独自色を打ち出してキョーワハーツを「精密部品のオールマイティ集団」に育て上げてきた。そんな坂本に、同社の強みや今後の課題などを聞いた。



キョーワハーツ 代表取締役社長

坂本悟

さかもと ひとる

Profile 坂本 悟 (さかもと ひとる)
1950年、東京都生まれ。中央大学法学部在学中は学生運動家として活動。4年次に中退し、28歳で大阪市の造船会社に就職。労働組合を組織し、労働運動に取り組む。85年、共和電機興業所(現・キョーワハーツ)に入社。90年、代表取締役就任。

らなかつたという思いもあつたかも知れません。
経営者になって10年くらい経つた時、ようやく社員教育が一番の仕事であり、そこが活動家と一番違うところだということがわかってきましたね。

「心が伴うモノづくり」が 新社名の由来

——今後の目標とは。
坂本：お客さまから、「どんなことで

も、まずあの会社に相談してみよう」と思われる会社にしていきたいと思っています。そのために、より「薄く」「細く」「小さい」モノづくりをチャレンジする。細さの分野では、40ミクロンの板を直径0.2ミリに丸める、といった目標値に取り組ん



ていきます。
また、モリブデンやマグネシウムといった、割れやすく曲げにくい素材の加工にもチャレンジしていきます。

——その目標に向かうためには、どういった人材が必要ですか。
坂本：まずはモノづくりが好きな人です。そして、

プラスチック志向を持ち、目標に向けてどんな障害にも負けず、あきらめずに努力し続けられる人ですね。技術的なことはいくらでも教えますから、学習経験の

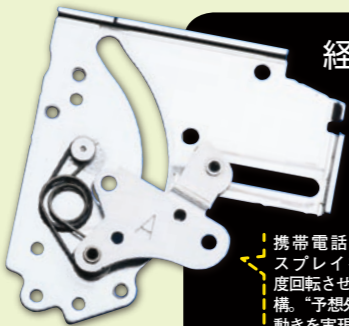
有無などは気にする必要はありません。

——御社の魅力はどのようなところにあるとお考えですか。
坂本：従業員を金型の設計ができるようになるまで育てることですね。金型の設計ができる技術者に定年はありません。

また、当社ならばプレスから組み込みまで一通り経験できます。自分で設計した金型で製品をつくれる面白さが味わえる。そのようなオールマイティの人材は業界でも貴重な存在だと思います。

また、当社ならばプレスから組み込みまで一通り経験できます。自分で設計した金型で製品をつくれる面白さが味わえる。そのようなオールマイティの人材は業界でも貴重な存在だと思います。

経営者になって10年くらい経った時、
ようやく
社員教育が一番の仕事であり、
そこが労働活動家と
一番違うところだということ
がわかってきましたね。



携帯電話ディスプレイを90度回転させる機構。「予想外」の動きを実現。

——最後に、「キョーワハーツ」という社名の由来をお教えください。
坂本：創業時は「共和電機興業所」という社名でしたが、私が社長に就任した機会に変えることにしました。新しい時代にどういう気持ちで会社経営に当たっているか、社内のみんなと考えました。モノづくりは技術だけでなく心も伴わないとだめだということで、父がつくつた「共和」を残してこの社名になりました。営業に行つて「パーツ屋なのに、なんでハーツなんだ」と聞かれる話題性もあつていいか、と思いついて(笑)。

会社概要 株式会社 キョーワハーツ

所在地 ● 神奈川県横浜市港北区高田西1-5-1
創業 ● 1951年(昭和26年)5月
資本金 ● 1,000万円
事業内容 ● 順送を主体とした精密プレス加工、金型設計制作、試作品製作、各種アセンブリ
従業員数 ● 24名
URL ● <http://www.kyowa-hearts.com>



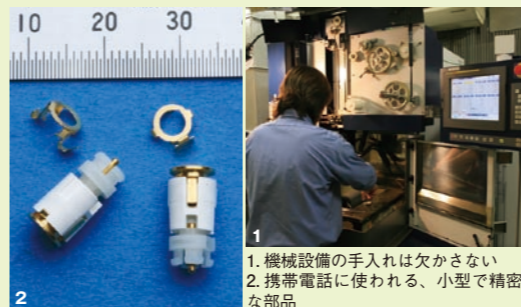
就職情報は
コチラ

※ ISO [International Organization for Standardization]
ISO (国際標準化機構)が定めた、組織における品質マネジメントシステムに関する一連の国際規格。企業などが顧客の求める製品やサービスを安定的に供給する仕組みを確立し、その効果を継続的に維持・改善するために要求されるルールなどを規定したものだ。

The Management Data File 経営者データファイル

お名前 ● 坂本 悟
生年月日 ● 1950年5月9日
東京都生まれ
身長 ● 174cm
体重 ● 72kg
平均睡眠時間 ● 6時間
平均起床時間 ● 午前6時30分
趣味 ● 小唄、スキー、読書、映画鑑賞
乗っている車 ● オデッセイ

家族 ● 母、妻、子ども4人
年収 ● 1500万円
今までに訪れた国 ● 4カ国
座右の銘 ● 二度とない人生を悔いなく生きる
おススメ本 ● 「坂の上の雲」 司馬遼太郎著
購読雑誌 ● 「致知」
尊敬する人 ● 稲盛 和夫
今日の財布の中身 ● 8万円
好きな食べ物 ● 寿司
嫌いな食べ物 ● なし



1. 機械設備の手入れは欠かさない
2. 携帯電話に使われる、小型で精密な部品